

令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

奈良県

行 事 名 称	令和8年 當麻寺合同訓練
実施期間・日時	令和8年1月20日（火）9：30～11：00
実 施 場 所	葛城市當麻1263番地 當麻寺境内
主 催 者	當麻寺自衛消防隊、當麻自警団、葛城市消防団第6分団、葛城消防署

■実施内容

訓練の想定

国宝當麻寺本堂内の詰所から出火し、敷地内の国宝、重要文化財及び県指定文化財並びに、近隣の山林にも延焼拡大の危険があるとの想定とする。

訓練の内容

當麻寺職員による火災発見後の、通報、初期消火、宝物（模擬）の搬出、敷地内各寺院に周知及び参拝者の避難誘導訓練を実施。また、當麻寺自衛消防隊、當麻自警団、葛城市消防団第6分団、葛城消防署による放水を実施。

参加者及び役割分担

當麻寺自衛消防隊員	（12名）：119番通報、消火器による初期消火、宝物（模擬）搬出、避難誘導、放水銃による放水
當麻自警団	（5名）：可搬式ポンプによる放水
葛城市消防団	（21名）：ポンプ車による放水、訓練見学
葛城消防署	（14名）：全体統括、ポンプ車による放水訓練、訓練講評
葛城市教育委員会	（2名）：訓練見学
當麻区長	（1名）：訓練見学

特に工夫した点

最寄りの消防署から、當麻寺までは10分弱の時間を要し、道路も狭隘であるため、初動体制に重点をおくこととした。また、周辺への飛び火があるものと想定し、消火活動中においても周辺建物および山林への警戒を厳とした。

問題点・課題

早期の段階で、関係機関との情報共有を図り、被害の軽減に努めることが課題。また、延焼が同時多発的に発生した場合、被災の建物から宝物を搬出や初期消火などにあたる、人員の確保に課題がある。

その他

毎年1月20日を訓練日と決めることにより、文化財防火意識の向上をはかる。

訓練風景

別紙参照

令和8年當麻寺合同消防訓練



